

回 覧										



暑さに負けず、子ども達は元気いっぱい!!

園庭の日陰で、水を汲んだり出したり、泥んこをすくったり混ぜたりと、夏ならではの遊びを楽しんでいる子どもたち。小さいクラスのひよこ組さん、うさぎ組さんも、冷たい水や泥んこをみつけるとすぐに近寄っていき、保育士や友だちの真似をしながら夢中になって遊んでいます。靴や服がぬれてもへっちゃら!! 気にせずに楽しめるのもこの時期の良さですね。

砂場では、らいおん組さんが大きな山や池を作ったり、といやパイプを使って水路を作ったりして楽しんでいます。どうしたらうまく水が流れるか、高さや角度、組み合わせ方を何度も試したり工夫したり… 「よし、いいよー」「こっちから水を流して!!」「いくよ、せーの!!」などと言いながら、友だちと一緒に作った水路の水がうまく流れるとみんなで大喜び!!



手も足も顔も砂まみれになって、ダイナミックに遊んでいます。いろいろな感触に触れて遊ぶ中で、自分なりに遊び方を考え、友だちと工夫したりしながら、引き続き、夏の遊びを楽しんでいきたいと思います。

もぐもぐもぐ… うん、おいしい!!

大人は暑くなって食欲も落ち気味の季節ですが、保育所の子ども達はよく給食をおかわりして食べてくれます。野菜が苦手だった子どもも、好きなものと一緒に口に入れてみたり、友だちが食べているのを見て「ちょっと食べてみようかな…」と少しずつ口にすると「食べれた!」「おいしかったけん、おかわりする!」と、口に入れてみて美味しさがわかることも。畑の夏野菜も少しずつ収穫できるようになり、それを食べられることもうれしいようです。調理の先生も、時々ハート型の人参やおかずを動物の形にしてくれて、楽しい給食の時間になっています。

※このおたよりは、大分市のホームページに掲載しています。